



島根大学附属図書館 年報2023

SHIMANE UNIVERSITY LIBRARY Annual Report 2023



図書館長より

私達の島根大学附属図書館

-上手に活用しよう-

附属図書館長に就任して、この春から4年目を迎えています。振り返れば、最初の2年間は、コロナ禍で、通常の開館もままならない中で、館長として為すべき仕事を全うできているか、自問自答の日々でありました。図書館職員の方々、さらには、コンシェルジュなどの学生さんのご協力により、コロナ禍の非常事態をなんとか切り抜け、昨年度からは、ほぼ通常の運営がなされています。図書館を利用される先生方、学生さんのご理解があったからこそ、何とか乗り切れることができたこと改めて感謝いたしております。ラーニング・コモンズやグループ学習室が好調に利用されていたコロナ禍前と比べても、それ以上に活発に利用されている様子を見るにつけ、なんとかここまで来たかと安堵しているこの頃です。引き続き今後とも図書館の色々なサービスをご活用下さいますようお願い申し上げます。

さて、図書館の利活用・目的について、本学の「教育・研究・地域貢献」の観点から、私なりに以下の(1)~(3)の3つに分類してみました。

(1)蔵書の利用・貸出

新入生を含めて学部学生は、講義や演習・実験などの学習や報告書作成に、図書館の蔵書の利用は欠かせないと思います。一人当たりの貸出冊数を見ると、学部・大学院を併せて、2023年度は7.43冊で、2019年度が9.93冊であることから、やや減少気味の傾向にあります。これは、コロナ禍で来館者数自体が減っており、まだ、コロナ禍前の状態にまでは完全には回復していないこと(本年報p.13参照)が考えられますが、電子図書の導入促進の効果の影響もあると思われます。「シラバス関連図書」、「学生希望図書」、「教員推薦図書」などとして、教員や学生さんのご協力も得て、時代のニーズに合わせた電子ブックを含む蔵書を充実することの重要性は今後も変わらないと考えられます。

(2)学習スペースなどの施設利用

最近の大学図書館には、図書を閲覧する座席以外に、ラーニング・コモンズなどの交流型の学習スペースが、必ず設置されています。利用の方法は、図書館ホームページの『学生の方へ』、『教職員の方へ』をクリックすると詳細が記載されています。これらは今後も大いにご利用頂ければと思います。なお、島根大学の附属図書館の特徴の一つが、展示室が効果的に利用されていることです。学内の教職員・学生からだけでなく、山陰地区の学外からの展示もあります。機会があれば、是非、お立ち寄り下さい。

(3)電子ジャーナル、デジタルアーカイブ

2000年代の半ばくらいでしょうか、世界中のほとんどの学術雑誌がWeb上で閲覧できるようになりました。

勿論、無料ではなく購読料を支払い契約していないと島根大学からは必要な学術論文を閲覧およびダウンロードはできません。昨今の円安の影響も加わり、電子ジャーナルの価格は急激に上昇しております。限られた予算の中で、他大学図書館などの情報も取り入れて、より効果的に電子ジャーナルを取り揃え購読できるように苦慮しております。さて、学部4年生になり研究室に配属され、卒業研究に取り組むようになると、お気づきになると思いますが、過去の研究はもちろんのこと、最新の研究展開に至るまで、世界中で為された研究状況を正確に把握していないとオリジナルの研究を遂行することはできません。この研究状況を調べるツールが、データベースです(図書館ホームページトップ画面の緑色のアイコンをクリックしてみてください)。データベースと電子ジャーナルを交互に使いながら研究を進めている大学院生も多いことでしょう。さらに、大学院を博士後期課程まで進み、学位を取得する院生は博士論文を提出しますが、書き上げた博士論文をインターネット公開することになります。それは島根大学・機関リポジトリ"SWAN"で行います。"SWAN"には、学内紀要や定期行物なども掲載されています。また、様々な貴重資料や島根県内の地域資料をデジタルアーカイブやリポジトリ(GO-GURa)に、デジタルデータとして、豊富に取り揃え掲載しているのも島根大学附属図書館の大きな強みの一つと言えます。

以上、時代とともに変わりつつある図書館の利活用について述べさせて頂きました。最近では、「オープンサイエンス」の言葉に代表されるように、研究成果の即時オープンが世界的に求められています。その中で、大学図書館の果たす役割は大きいと言わざるを得ません。さらに、島根県内の図書館の一つとして島根県図書館協会でも活動したり、国立大学図書館協会が開催する総会などを通じて他館と連携をとることも、図書館サービスの維持・向上のために欠かせません。より効果的に附属図書館を利用して頂くために、職員共々努力して行く必要があると、再認識しております。どうぞ宜しくお願いいたします。

附属図書館長 半田 真



第51回国大図協中四国協会総会
(2024年4月,香川大)にて

附属図書館の理念と目標

2013（平成25）年8月2日学術情報機構附属図書館運営会議承認

理念

島根大学は、社会の発展と進歩に貢献するため、豊かな人間性と専門性を身につけた人材の養成を使命とし、創造性ある研究の促進や地域連携を推進しています。（「島根大学憲章」より）

附属図書館は、島根大学における学修、教育、研究を支援するための基盤施設として学術情報の収集、提供に努め、また、地域や国際社会との連携をすすめ、地域に根ざし、社会に貢献できる図書館を目指します。

目標

1. 学修・教育支援のための資料と環境の整備

学生の学修を支援するため、充実した資料と学修環境を整備し、人格を育む教育を目指して、学内の教育研究プログラムと連携した教育支援を行います。

2. 研究支援のための学術情報整備

多様な分野の特色ある高度な研究を支援するため、国内外の学術情報の収集整備に努め、これらを効率的に利用できる電子図書館機能を充実します。

3. 地域の学術情報拠点としての連携協力

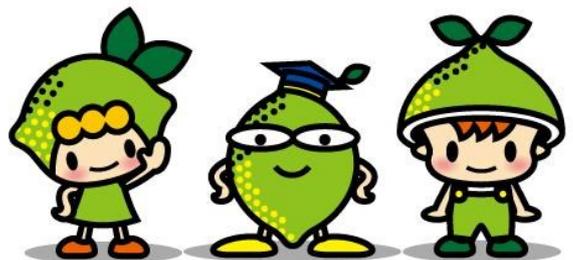
地域の特性と大学の特色を生かした企画、運営をすすめ、地域の学術情報拠点として、資料提供、連携企画、情報発信等を積極的に行います。

4. 学術コミュニケーションへの貢献

大学の研究成果や貴重資料を世界に向けて発信し、学術コミュニケーション活動に貢献します。

CONTENTS

TOPICS	4
統計	
・基本統計	11
・利用者	12
・貸出	13
・図書	14
・図書館資料費	15
・電子リソース	16
・Webサービス	17
・相互協力	18
・講習会／その他	19
図書館日誌	20
その他の記録	22



島根大学附属図書館マスコットキャラクター
(左から) みいなちゃん、ライム博士、けんさくくん

TOPICS

■新型コロナウイルスへの対応

2023年度も大学の方針に従いつつ、特に5月8日に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが「5類」に移行した後は、附属図書館で行ってきた各種制限を徐々に緩和・撤廃した。

本館では、以下の図の通り、グループ学習スペースを中心に制限の見直しを図った。

施設名	2023年4月～	5月～	10月～	2024年4月～
ラーニング コモンズ	個人学習用スペースとして提供（前年度と同様）	グループ学習可に変更		
グループ 学習室	定員を制限して提供再開 学習室1：2～4名 学習室2：2～6名	人数制限を緩和 学習室1： 2～6名 学習室2： 2～8名	人数制限を撤廃 学習室1： 2～8名 学習室2： 2～12名	

医学図書館においても、5月以降制限の見直しを行った。主な内容は以下の通り。

- ・実習生／非実習生／教職員を分けていたゾーニングを廃止
- ・2階セミナー室の提供を再開（学内者のみ／2～8名）
- ・3階自由閲覧室の提供を再開（学内者のみ／上限16名）
- ・学外者の来館利用を制限付きで再開（1日60分まで）

■2023年度図書館コンシェルジュ活動

「図書館コンシェルジュ」とは、職員と協働し、附属図書館本館におけるピアサポートを進めるとともに、学生の視点によるサービスの改善などを目的とする学生ボランティアである。

2023年度は、前期に図書展示（ブック★コンパス）やオリジナルデザインの葉・ブックカバーの作成・配布、読書の木（来館者参加型の図書紹介企画）を実施した。また、オープンキャンパスに合わせて高校生及び保護者を対象とした「館内スタンプ

ラリー」（p.8参照）を実施し、多くの方に参加してもらうことができた。

後期は、松江市立図書館に実際に訪問し、「冬に読みたい、コンシェルジュおすすめの本」というテーマで選書した図書を団体貸出してもらい館内に展示した。50冊展示し、期間中（12/15～1/19）に42回の貸出があった。

■新ロゴマーク記念展示「島根大学『松江キャンパス』ができるまで」を開催

本館展示室で、新ロゴマーク記念展示『島根大学「松江キャンパス」ができるまで』を開催した。この企画展は、島根大学「松江キャンパス」「出雲キャンパス」誕生（平成15年の旧島根大学および旧島根医科大学の統合による）20周年を記念して本学の歴史を振り返るとともに、令和5年度から運用を開始した本学の新たなロゴマークを紹介する趣旨で開催した。

展示では、本学が「開学」「教育学部キャンパスの統合」「農学部の設置」をきっかけにキャンパスを整備、拡張する様子をパネルで解説するとともに、同時代の松江市の変遷を写真で紹介した。展示品としては、館蔵の本学前身校の蔵書、大学設置に関する『国立島根大学設置計画書』（竹崎文庫、資

料番号：2261984）などのほか、かつて使われていた教材、学部の門札を展示した。

新ロゴマークについては、選定の経緯やコンセプト、ロゴマークを使った大学のグッズを展示するコーナーを設け、あわせて旧島根大学、旧島根医科大学の学章・ロゴマークの歴史なども紹介した。展示期間中、1,300名余りの来場があった。



島根大学の新しいロゴマーク

TOPICS

■開催概要

期間：2023年4月3日（月）～5月31日（水）

※参考 開室日数59日

会場：本館1階展示室（地域コミュニティラボ）

主催：島根大学附属図書館

共催：島根大学総合博物館



■廃棄予定図書の無償提供（医学図書館）

医学図書館において、除籍済みの廃棄予定図書について有効活用を図るため、出雲キャンパスの学生・教職員を対象に無償提供を行った。会場は3階自由閲覧室で、感染症対策として入場者数及び滞在時間に制限を設けて、譲り合って入室するよう呼び掛けた。医学図書館では初めて無償提供会を開催したが、約15%の廃棄予定図書が持ち帰られ、来場者アンケートでも高評価を得られた。

■開催概要

期間：2023年4月25日（火）～27日（木）

会場：医学図書館 3階自由閲覧室

提供冊数：1,073冊



■企画展示「命の絆展－被害者も加害者も出さないまちづくり－」を開催

この企画展は、犯罪被害者遺族による手記や警察等の支援活動の紹介を通して、被害者も加害者も出さない街づくりに向けた機運の醸成を目指して開催した。本学での開催は、5回目となる。

期間中は258名の来場があった。アンケートでは「被害者の方の身につけていたものが展示されていて、事故が本当にあって、これを付けていた人はもういないのかという事実にはさみしさを覚えた。」「文字から伝わってくる遺族の方の苦痛に胸が苦しくなった。」「定期的にこのような展示をしてほしい。」などの声が寄せられ、展示を通して命の重さ、大切さについて考える機会となった。

■開催概要

期間：2023年6月5日（月）～6月16日（金）

※参考 開室日数12日

会場：本館1階展示室（地域コミュニティラボ）

主催：島根県警察本部、（公財）島根被害者サポートセンター、江角由利子氏

共催：島根大学附属図書館



TOPICS

■電子ブックまつりを開催

附属図書館では、電子ブックの利用促進を図ることを目的として、「電子ブックまつり」を2023年6月より期間限定で開催した。期間中、EBSCO eBook Collection、Maruzen ebook Library、KinoDenの各電子ブックの試読サービスを行い、その利便性を体感してもらった。読みたい本を試読後にそのままリクエストできるように、各試読サービスのリクエスト機能からの申込みを受け付ける運用として、電子ブック限定のリクエスト枠を設けて実施した。

期間中、本館2階の展示ウォールにて、各社おすすめの電子ブックが紹介されているQRコード付きカードを作成し、展示した。カードは、利用者がその場でQRコードから電子ブックにアクセスして利用することを企図したもので、各学部に合わせて内容にグループ分けして設置した。併せて1枚ものの配布用リストを作成し、展示ウォールに配置した。

利用数が前年同時期と比べて大幅に増え、多くの利用者に電子ブックの利便性を体験してもらえたようであった。

■開催概要

期間：2023年6月1日（木）～7月31日（月）

（EBSCO eBook Collectionは8月31日まで）

会場：本館2階交流ゾーン（PCルーム前の展示ウォール）



■廃棄予定図書の無償提供（本館）

本館において、除籍済みの廃棄予定図書について有効活用を図るため、松江キャンパスの学生・教職員、一般利用者を対象に無償提供を2回開催した。2023年度は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが「5類」に移行したことを受けて、会場への入場数・滞在時間に制限を設けず、一般利用者への提供も再開した。会場は3階多目的室で、2回とも50%近くの廃棄予定図書などが持ち帰られた。

■1回目

日時：2023年7月4日（火）～7日（金）

10：00～16：00

来場者数：281名（学生205名、教職員63名、一般利用者13名）

対象資料：図書約4,000冊

雑誌700冊程度（約40誌分）

■2回目

日時：2024年1月23日（火）～26日（金）

10：00～16：00

来場者数：171名（学生118名、教職員45名、一般利用者8名）

対象資料：図書約3,000冊



TOPICS

■企画展示「戦争と平和を考える2023～ラーゲリ(収容所)にいた島根の人たち～」を開催

この企画展は、戦争がもたらす日常や人間性の喪失の先に、戦争体験を乗り越えようとした人々の姿を学ぶことで、戦争と平和について考える機会とすることを目的に開催した。

本企画展では、映画「ラーゲリより愛をこめて」(2022年冬公開)の主人公・山本幡男(島根県隠岐郡西ノ島町出身)が戦友に託し家族に宛てた遺書(複製)を、所蔵先の同町西ノ島ふるさと館より借用し、併せて当館が所蔵する山陰中帰連史料とともに展示した。

展示期間中は720名の来場があり、アンケートでは「映画を見たこともあったので、遺書が展示されていて感動した」などと感想が寄せられた。

また、関連企画として同映画のミニ上映会を2回にわたり開催し、いずれもほぼ満席となり好評だった。

■開催概要

期間：2023年7月21日(金)～8月31日(木)

※参考 開室日数 28日

会場：本館1階展示室(地域コミュニティラボ)

協力：一般社団法人西ノ島町観光協会

<関連企画>

映画「ラーゲリより愛をこめて」のミニ上映会

日時：7/27(金)、8/8(火) いずれも13:30～

会場：附属図書館3F多目的室

来場者数：計64名(7/27:26名、8/8:38名)



■長期休業期間中の節電対策(本館)

光熱水費(特に電気料金)の高騰が、大学運営に大きな影響を与えている状況を踏まえ、夏季及び春季の長期休業期間中(夏季はフレックスターム含む)に、附属図書館本館において節電対策を実施した。

附属図書館本館の閲覧室は、正面玄関に近い旧館(交流・学習ゾーン)と奥側の新館(研究ゾーン)の2つの建物に分かれており、座席数の違いなどから旧館の方がよく利用されている。長期休業期間は、授業期間と比べ来館者が大幅に減少し、閲覧座席不足の心配がないため、奥側の新館の電気設備の稼働を一部停止し、節電を図ることとした。

節電期間中の開館サービスへの影響は、来館者の理解・協力もあり、最小限に抑えられたと考えている。この節電対策により、附属図書館の電気使用量は、前年度比で8-9月は約25%減、2-3月は約30%減となり、光熱水費の大幅な節約につながった。2024年度も継続実施を検討している。

実施期間

・2023年8月4日(金)～9月27日(水)

※一部期間を除く

・2024年2月2日(金)～3月27日(水)

内容

- ・新館閲覧室(1・2F)の空調設備(全館空調システム)の稼働停止。
- ・新館閲覧室(1・2F)の照明OFF(閲覧席上部のみ)。
- ・新館閲覧室への立ち入りは、資料の探索・持ち出しのためのみ可とし、閲覧利用は旧館閲覧室の閲覧座席を利用してもらった(書庫は通常通り利用可)。

TOPICS

■オープンキャンパス企画「館内スタンプラリー」等を開催

本館では、2023年8月1日（火）～8月3日（木）に開催された2023年度オープンキャンパスにおいて、図書館コンシェルジュが高校生及び保護者を対象としたオープンキャンパス企画を実施した。

イベント企画「館内スタンプラリー」は、参加者がスタンプラリーをしながら施設を見学できるように、館内6か所にチェックポイントを設置したもので、全てのスタンプを集めた参加者には、景品として図書館コンシェルジュ制作のオリジナル菓子を贈呈した（合計168名の参加者に贈呈）。

また、「島根・松江再発見」と題した図書展示企画では、県内外から来た参加者に島根大学周辺地域の魅力を知らってもらうため、山陰の観光地や歴史、文化を紹介した資料を集めて展示したほか、オリジナルブックカバーの配布を実施して、多くの来館者を楽しませた。

図書館コンシェルジュメンバーの尽力により、3日間合計で535名（高校生273名、保護者262名）もの来館者を迎えることができた。



■EJRSへの参加と新規電子化した桑原文庫資料を用いたデジタル展示2件の公開

2023年9月13日（水）～16日（土）に開催された第33回日本資料専門家欧州協会（EJRS）年次大会に職員2名がオンライン参加し、ケンブリッジ大学図書館日本部長であった小山騰氏とのジョイント・プレゼンテーション形式で本学デジタルアーカイブ（DA）を紹介した。発表題目は「『欧米美術行脚』、桑原文庫、島根大学附属図書館デジタル・コレクション：インターネット時代のリソース」である。

EJRSは欧州域内の日本研究機関間の情報交換や日本からの情報入手促進普及を目的として創立され、年次大会には日本文化研究者や学芸員等が参加する。紹介後、欧州在住の研究者から本学所蔵資料に対する問い合わせが寄せられた。

年次大会参加にあわせ、桑原文庫資料の電子化を行った上、ジャパン・サーチのギャラリー機能を利用し、新規電子化資料を中心としたデジタル展示2件（「桑原羊次郎の欧米美術行脚～日英博覧会を中心

に～」と「桑原文庫『展覧会目録』の世界」）を公開した。2023年9月から2024年5月までの8カ月間の閲覧数は二展示合計1,394アクセス（月平均174アクセス）である。今後、DA未公開資料の電子化を進めるとともに、新たな電子展示の作成も行う予定である。



■4年ぶりとなる職場体験の受け入れ

本館では、2023年9月に職場体験として2日間、湖南中学校から2名の生徒を受け入れた。コロナ禍以降、職場体験の受入を中止していたため、今回は実に4年ぶりの受入となった。

生徒たちは2日間という短い日程の中で、本の配架・返却作業、館内での資料探し、受入資料の登録

作業、図書の装備（ラベル貼り）など、様々な業務を体験した。初めは緊張している様子であったが、職員の説明や指示を注意深く聞いて、どの業務にも真面目に取り組んでいた。担当者から説明を受けた後に、実際に業務を体験することで、図書館内の多様な業務についての理解を深めた。

TOPICS

■学生選書ツアーを開催

本館では、2023年11月15日(水)に、市内書店にて学生選書ツアーを開催した。4名の学生の参加があり、思い思いに選書を楽しんだ。今回選書したうちすでに所蔵されているものを除いた計160冊を購入し、学生選書として新刊コーナーにて展示した。今回購入した図書の一部は、島根大学学生生活推進会からの寄贈として整備されている。

参加した学生からも、「もう少し時間が欲しかった」「また開催してほしい」などの感想が寄せられた。

なお、図書のリクエストについては通年で受付けており、今後も学生が希望した図書の整備をすすめていく予定である。



■企画展示「しまねで世界と繋がる！ーしまね国際センター&JICAパネル展ー」（島大グローバル月間イベント）を開催

この企画展は、学生が島根と世界の繋がりを実感し、身近なこととして考える機会にするとともに、11月の島大グローバル月間に合わせて実施することで本学のグローバル人材の育成・醸成に寄与することを目的に開催した。

展示では、主催団体が行っている多文化共生、国際交流、国際協力事業について、解説パネルやパンフレットで紹介した。また、会期初日には、本学在学中に青年海外協力隊に参加した卒業生によるセミナーも学内で開催され、海外での生活や国際協力について学ぶ機会となった。

展示期間中は161名の来場があり、アンケートでは「島根県からこれほど多くの、かつ多様な職種で海外協力隊が派遣されていることに驚いた。」などの感想が寄せられた。

■開催概要

期間：2023年11月15日（水）～11月29日（水）

※参考 開室日数15日

会場：本館1階展示室（地域コミュニティラボ）

主催：（公財）しまね国際センター、JICA中国（島根県JICAデスク）

共催：島根大学附属図書館、島根大学国際センター



■「移植医療に関する資料展示ーつながるいのちー」を開催

日本では、臓器移植を必要としている人が約16,000人いるのに対し、実際に移植を受けることができるのは1年に400～500人程度と、約3%の人しか受けることができない現状にある。今回の資料展示は、臓器移植、骨髄移植、角膜移植などの移植医療について正しい情報を提供し、自分事として考えてもらう契機とするために開催した。

各移植医療に関するパンフレットなどの他、「痛そう」「勇気がいる」「自分には関係ない」など、特に若い世代によくある疑問や意見などへの回答も掲示されており、立ち止まってじっくり資料を読んでいる学生の姿も見受けられた。

会場：本館2階交流ゾーン（PCルーム前の展示ウォール）

主催：（公財）ヘルスサイエンスセンターしまねまごころバンク

共催：島根大学附属図書館



■開催概要

期間：2024年1月10日（水）～1月31日（水）

※参考 展示期間21日

TOPICS

■能登半島地震の被災地域からの避難者に対するサービスの提供

令和6年能登半島地震で被災した大学の学生・教職員で、島根県（近隣の地域を含む）に滞在している方を対象に、以下のサービスを提供の案内を行った。

- 1) 館内資料の閲覧
- 2) 館内資料の複写（有料）
- 3) 図書の貸出（利用証の発行）…本館：10冊・2週間まで（通常3冊）/医学図書館：10冊・1週間まで（通常5冊）

貸出冊数以外は平時より行っているサービスと同等であるが、非常時において困難な状況におかれた被災者に対して、わずかであっても図書館が出来る支援や基本姿勢を伝える機会として行動する意義があると考え実施したものである。

附属図書館では、平成28年の熊本地震発生時にも同様のサービス提供を案内したほか、事情は異なるものの趣旨の近い取り組みとして、コロナ禍においては「進学先の大学図書館が利用できない県内出身の学生への特別措置」も実施している。今回の期間中、本サービスの利用申請はなかったが、今後も必要に応じて実施可能なサービスを柔軟に検討していきたい。

実施期間：2024年1月19日（金）～3月31日（日）

■企画展示「東日本大震災－須田郡司と小泉八雲－」を開催

この企画展は、国内で大規模地震等の災害が頻発するなか、写真と文学を通して震災に触れ、自然災害をみずからの出来事や問題として捉え直していくことを目的として開催した。また、4月から新生活をスタートさせる県外出身の新入生に対して、地域文化を学びながら防災意識を高めてもらう機会とすることも狙いとした。

企画展は4部構成で、①10年にわたって被災地を訪問してきた写真家須田郡司氏（本学大学院の修了生）の作品、②小泉八雲記念館館長の小泉凡氏が被災地で撮影した写真、③災害に関わる小泉八雲（ラフカディオ・ハーン）の著作物等、④被災地を訪問した本学学生（島根大学ラフカディオ・ハーン研究会学生部）によるパネル報告とした。また、防災に関する当館蔵書の展示・貸し出しも行った。

期間中は716名の来場があり、アンケートでは「被災地の生々しい写真を見て当時の報道を思い出した」などの感想が寄せられた。

■開催概要

期間：2024年3月15日（金）～4月30日（火）

※参考 開室日数39日

会場：本館1階展示室（地域コミュニティラボ）

主催：島根大学ラフカディオ・ハーン研究会学生部、島根大学附属図書館

協力：須田郡司、小泉凡、出雲かんべの里、NPOげんき宮城研究所／みちのく八雲会

<特別イベント>

3/18（月） 学生による紙芝居上演（小泉八雲「TSUNAMI」等）

3/25（月） 東日本大震災のドキュメンタリー映画上映、学生による紙芝居上演



統計

■基本統計：2023年度データ

		本館 (松江キャンパス)	医学図書館 (出雲キャンパス)	合計	
開館日数	平日	232	238		
	土・日・祝日	59	79		
	合計	291	317		
利用対象者数 (2024年5月1日現在)	教職員	3,704		3,704	
	学生	5,019	1,119	6,138	
	学外者	533	44	577	
	合計			10,419	
入館者数	学生	200,089	76,331	276,420	
	教職員	10,045	6,352	16,397	
	学外者	7,091	156	7,247	
	合計	217,225	82,839	300,064	
貸出冊数	学生	40,215	5,271	45,486	
	教職員	5,132	2,090	7,222	
	学外者	3,767	231	3,998	
	合計	49,114	7,592	56,706	
蔵書冊数 *1 (2024年3月31日現在)	和漢書	695,473	74,711	770,184	
	洋書	155,749	66,250	221,999	
	合計	851,222	140,961	992,183	
図書受入冊数 *1	和漢書	購入	4,822	830	5,652
		製本	173	248	421
		寄贈	3,883	72	3,955
		再受入	306	10	316
		計	9,184	1,160	10,344
	洋書	購入	145	49	194
		製本	0	17	17
		寄贈	255	62	317
		再受入	46	478	524
		計	446	606	1,052
合計	9,630	1,766	11,396		
雑誌所蔵種類数 *1	和雑誌	8,848	1,039	9,887	
	洋雑誌	2,876	1,614	4,490	
	合計	11,724	2,653	14,377	
雑誌受入種類数 *1	和雑誌	購入	329	114	443
		寄贈・その他	441	112	553
		計	770	226	996
	洋雑誌	購入	35	5	40
		寄贈・その他	8	2	10
		計	43	7	50
合計	813	233	1,046		
資料費 (千円)	図書	20,950	5,570	26,520	
	雑誌	2,475	2,516	4,991	
	小計	23,425	8,086	31,511	
	データベース	6,630		6,630	
	電子ジャーナル経費 *2	89,254		89,254	
	合計			127,395	
文献複写件数	受付	817	690	1,507	
	依頼	991	412	1,403	
現物貸借件数	受付	531	35	566	
	依頼	445	22	467	

*1 研究室の資料を含む。

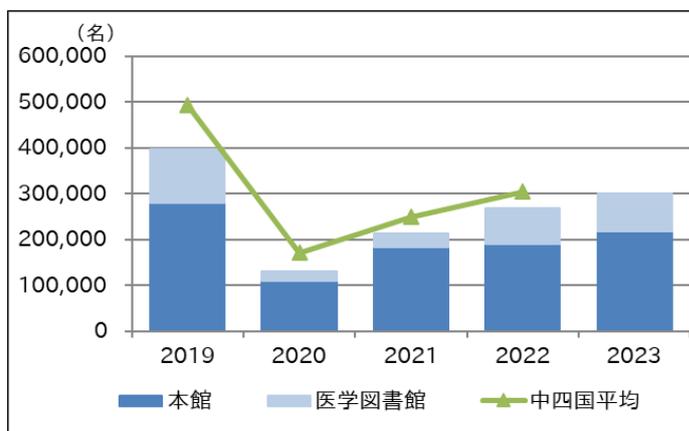
*2 学術情報基盤整備計画にかかる全学共通経費相当分。

統計

利用者

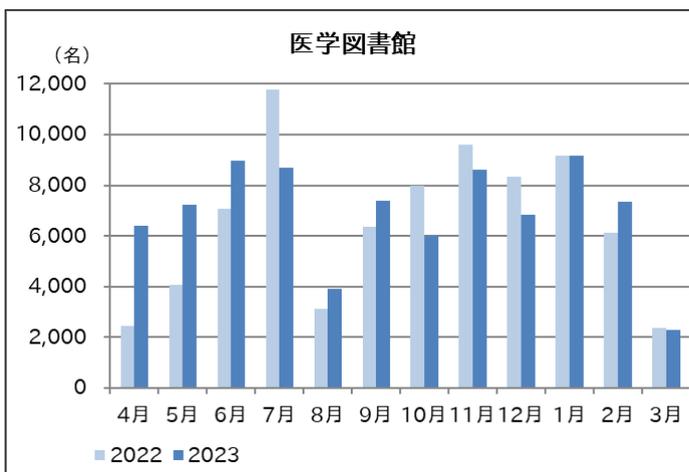
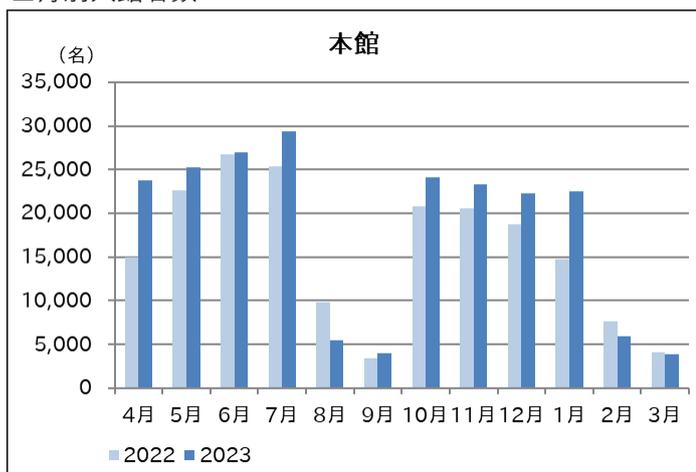
■入館者数

		2019	2020	2021	2022	2023
本館	学生	262,194	99,075	169,163	176,091	200,089
	教職員	9,889	8,103	9,513	9,994	10,045
	学外者	8,811	2,432	3,810	3,642	7,091
	小計	280,894	109,610	182,486	189,727	217,225
医学図書館	学生	107,769	16,263	26,091	71,925	76,331
	教職員	7,968	5,313	5,644	6,434	6,352
	学外者	1,508	79	66	113	156
	小計	117,245	21,655	31,801	78,472	82,839
合計	398,139	131,265	214,287	268,199	300,064	
中四国平均	493,660	171,670	249,170	304,830	-	



※中四国平均は、「日本の図書館：統計と名簿」（日本図書館協会編）に掲載の中国四国地区国立大学のうち、島根大学と同規模校（学部数2～7学部）7校（広島・岡山・鳴門教育大学を除く）の平均値を用いた。（以下同様）

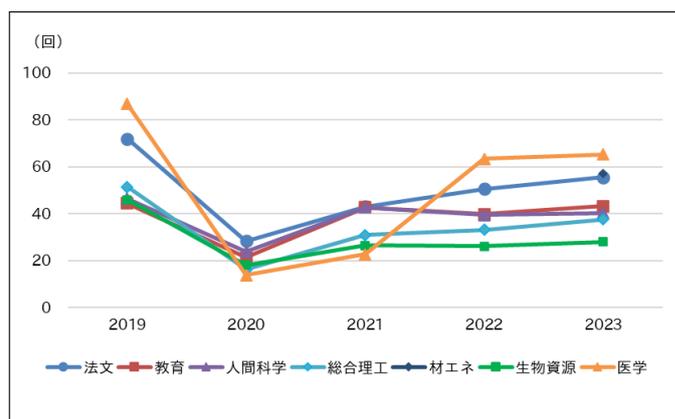
■月別入館者数



		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
本館	2022	15,015	22,688	26,796	25,408	9,874	3,418	20,765	20,517	18,760	14,790	7,629	4,067
	2023	23,799	25,278	27,009	29,383	5,477	4,027	24,101	23,374	22,308	22,565	5,986	3,918
医学図書館	2022	2,455	4,058	7,089	11,793	3,137	6,363	7,989	9,618	8,324	9,158	6,131	2,357
	2023	6,384	7,239	8,970	8,692	3,908	7,390	6,022	8,618	6,825	9,152	7,349	2,290

■学生1人あたりの年間平均来館回数

学部	2019	2020	2021	2022	2023
法文	71.95	28.29	42.98	50.63	55.49
教育	44.43	21.28	42.66	39.73	43.19
人間科学	46.48	23.95	42.63	39.46	40.28
総合理工	51.50	16.15	30.88	33.14	37.48
材工ネ	-	-	-	-	57.21
生物資源	45.86	17.96	26.52	26.13	27.90
医学	86.88	13.87	22.70	63.36	65.30



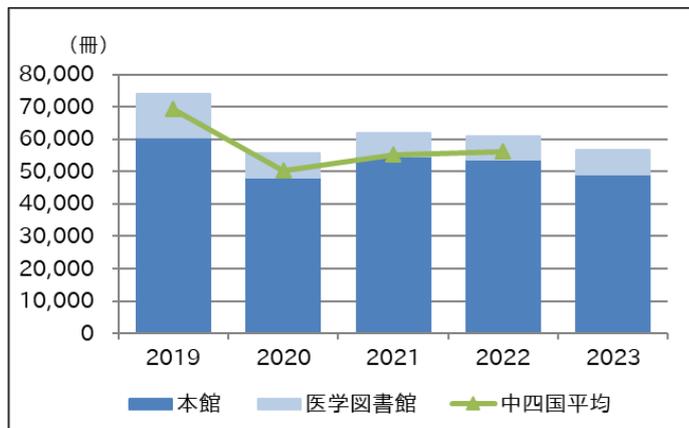
統計

貸出

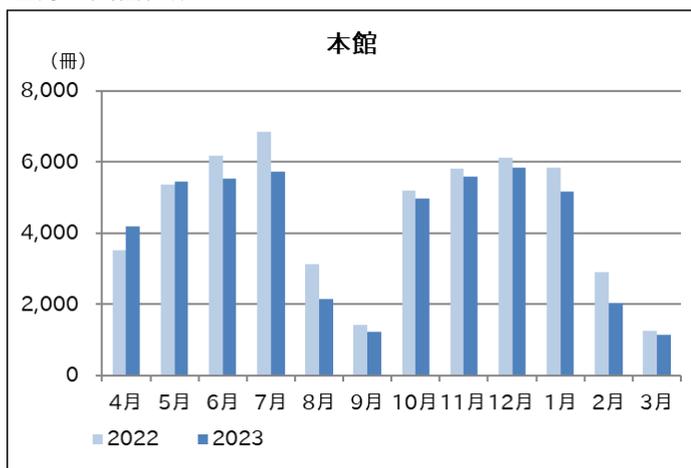
貸出冊数

		2019	2020	2021	2022	2023
本館	学生	49,327	39,697	46,085	45,216	40,215
	教職員	6,244	5,869	5,477	5,660	5,132
	学外者	4,962	2,572	3,043	2,716	3,767
	小計	60,533	48,138	54,605	53,592	49,114
医学図書館	学生	10,807	5,681	5,090	5,563	5,271
	教職員	2,211	1,805	1,998	1,535	2,090
	学外者	499	79	32	118	231
	小計	13,517	7,565	7,120	7,216	7,592
合計		74,050	55,703	61,725	60,808	56,706
中四国平均		69,330	50,330	55,330	56,170	-

※延長貸出も回数としてカウントしている。



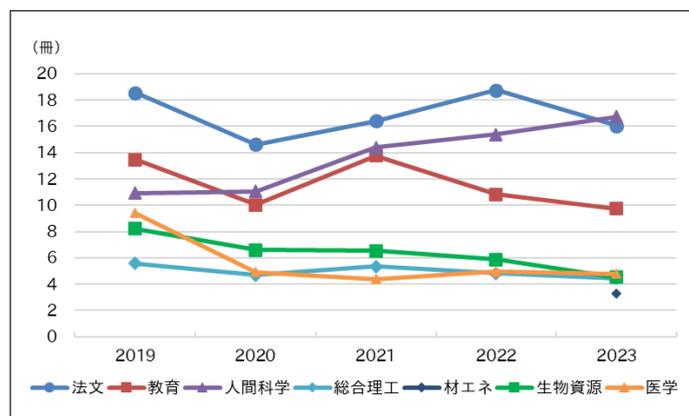
月別貸出冊数



		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
本館	2022	3,528	5,354	6,177	6,848	3,139	1,429	5,198	5,806	6,111	5,838	2,895	1,269
	2023	4,202	5,457	5,535	5,730	2,159	1,231	4,989	5,592	5,850	5,175	2,041	1,153
医学図書館	2022	541	760	668	498	412	732	710	795	560	635	537	368
	2023	679	731	750	643	415	690	770	605	579	750	599	381

学生1人あたりの年間平均貸出冊数

学部	2019	2020	2021	2022	2023
法文	18.56	14.61	16.39	18.74	16.04
教育	13.48	10.05	13.76	10.82	9.73
人間科学	10.93	11.07	14.38	15.39	16.73
総合理工	5.59	4.69	5.36	4.81	4.47
材工ネ	-	-	-	-	3.30
生物資源	8.23	6.60	6.55	5.88	4.53
医学	9.41	4.93	4.41	4.95	4.80



統計

■ 図書

■ 蔵書冊数（分類別）

分類	本館			医学図書館			合計
	和漢書	洋書	小計	和漢書	洋書	小計	
000 総記	93,685	11,495	105,180	824	232	1,056	106,236
100 哲学	40,898	9,395	50,293	1,119	468	1,587	51,880
200 歴史	87,882	7,329	95,211	995	1,243	2,238	97,449
300 社会科学	171,027	27,210	198,237	1,944	527	2,471	200,708
400 自然科学	60,248	25,535	85,783	3,253	692	3,945	89,728
500 技術・工学	32,841	2,991	35,832	388	29	417	36,249
600 産業	36,420	3,345	39,765	185	23	208	39,973
700 芸術	30,561	4,743	35,304	556	134	690	35,994
800 語学	25,689	10,006	35,695	1,001	980	1,981	37,676
900 文学	72,571	18,283	90,854	2,007	1,655	3,662	94,516
医学専門	1	0	1	40,825	9,096	49,921	49,922
製本雑誌	43,650	35,417	79,067	21,614	51,171	72,785	151,852
合計	695,473	155,749	851,222	74,711	66,250	140,961	992,183

※ 2024年3月31日現在の数字。ただし、データ抽出は2024年4月3日のため冊数内訳に若干数の変更がある。

※ 視聴覚資料を含む。

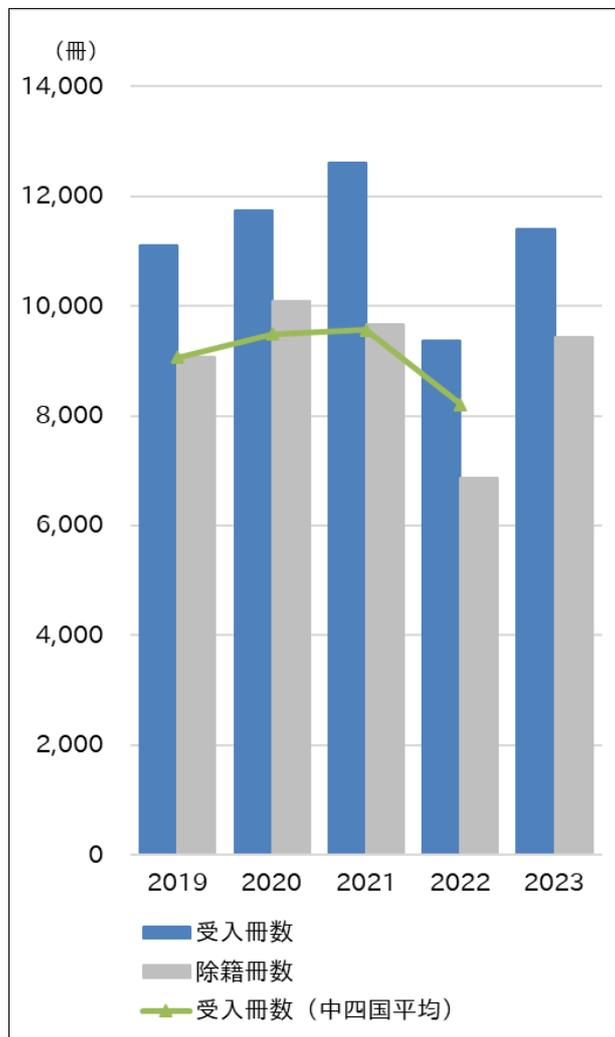
※ 研究室の資料を含む。

■ 受入冊数

		2019	2020	2021	2022	2023	
本館	和漢書	購入	5,891	5,632	6,323	4,845	4,822
		製本雑誌	435	204	201	181	173
		寄贈	2,134	3,214	2,949	2,172	3,883
		再受入	393	319	148	97	306
		計	8,853	9,369	9,621	7,295	9,184
	洋書	購入	303	309	359	296	145
		製本雑誌	0	0	0	0	0
		寄贈	216	314	535	184	255
		再受入	7	21	7	5	46
		計	526	644	901	485	446
小計	9,379	10,013	10,522	7,780	9,630		
医学図書館	和漢書	購入	1,185	1,169	1,292	1,052	830
		製本雑誌	335	297	299	261	248
		寄贈	85	114	140	114	72
		再受入	0	34	1	0	10
		計	1,605	1,614	1,732	1,427	1,160
	洋書	購入	80	82	190	67	49
		製本雑誌	39	40	24	15	17
		寄贈	1	3	7	2	62
		再受入	0	0	145	78	478
		計	120	125	366	162	606
小計	1,725	1,739	2,098	1,589	1,766		
合計	11,104	11,752	12,620	9,369	11,396		
中四国平均	9,070	9,489	9,571	8,208	-		
除籍冊数	9,069	10,097	9,669	6,879	9,428		
所蔵総数	983,119	984,774	987,725	990,215	992,183		

※ 視聴覚資料を含む。

※ 研究室の資料を含む。



統計

■ 図書館資料費

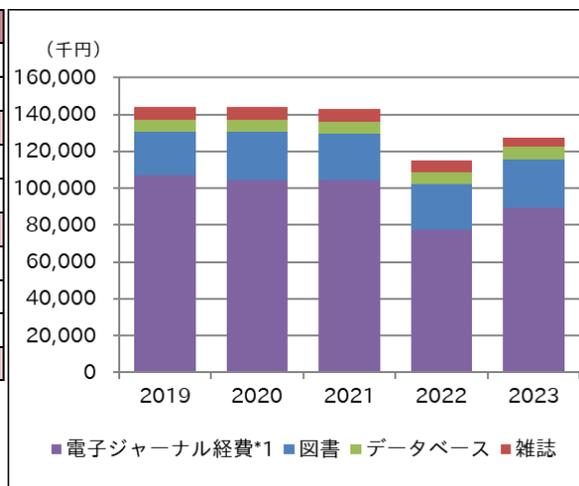
■ 図書館資料費の推移

(単位：千円)

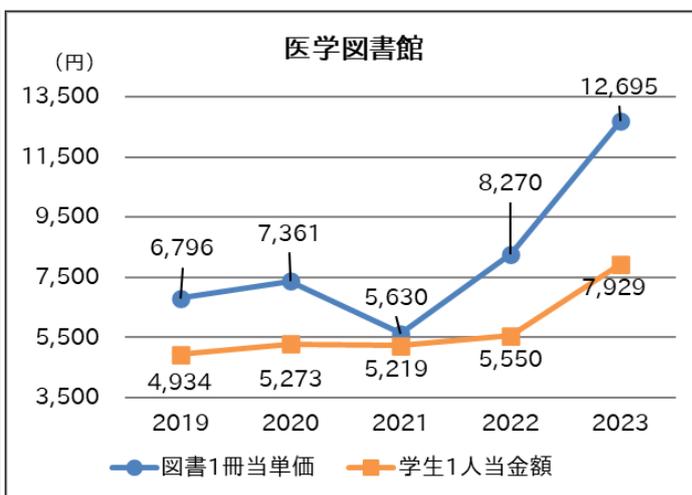
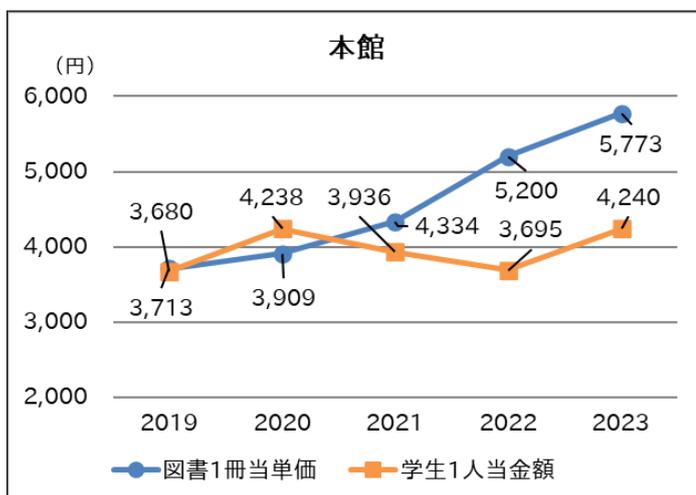
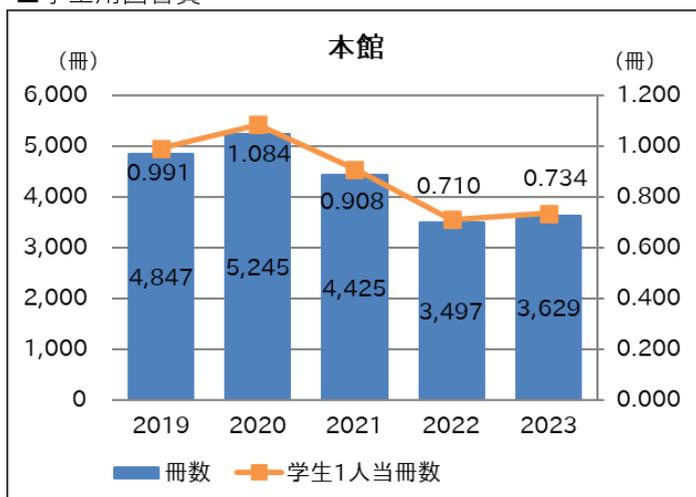
		2019	2020	2021	2022	2023
本館	図書	17,998	20,505	19,178	18,185	20,950
	雑誌	3,997	3,783	3,899	3,364	2,475
	小計	21,995	24,288	23,077	21,549	23,425
医学図書館	図書	5,743	6,154	6,075	6,294	5,570
	雑誌	2,900	2,831	2,875	2,991	2,516
	小計	8,643	8,985	8,950	9,285	8,086
データベース		6,787	6,509	6,549	6,551	6,630
電子ジャーナル経費*1		106,819	104,229	104,469	77,733	89,254
電子ジャーナル(戦略*2)		7,881	0	2,882	0	0
合計		152,125	144,011	145,927	115,118	127,395

*1 学術情報基盤整備計画にかかる経費相当分

*2 戦略的機能強化推進経費分



■ 学生用図書費



統計

■電子ジャーナル

■主要電子ジャーナルの利用状況（ダウンロード数）

	2019	2020	2021	2022	2023
ACS All Pubs Package	-	-	-	30,393	35,628
Elsevier社タイトル (うち前払トランザクション)	127,115	162,699	180,182	127,464	44,480
JSTOR *1	1,128	1,661	1,199	756	1,276
Oxford	12,190	-	-	14,982	17,883
Nature	6,099	7,835	6,081	6,417	7,044
PNAS	3,137	27,249	3,196	2,631	2,753
Science	3,212	3,177	3,395	2,891	2,710
SpringerLink	41,341	49,415	51,004	64,701	64,445
Wiley Online Library	50,150	50,352	64,218	67,962	59,527
メディカル・オンライン・ライブラリー*2	36,903	39,386	39,305	33,508	33,289

※当該年の1月～12月で集計している。

*1 Arts & Sciences Collection I, Health & General Sciences Collection

*2 電子ブックのダウンロード数も含む。

■電子ジャーナル契約タイトル数

	和洋	2023	
電子ジャーナル経費	ACS All Pubs Package	洋	66
	Cancer cell	洋	1
	JSTOR *1	洋	141
	The Lancet	洋	1
	Nature	洋	1
	Oxford Online	洋	355
	PNAS	洋	1
	Science	洋	1
	SpringerLink	洋	1,550
	Wiley Online Library	洋	1,430
小計		3,547	
部局経費	Karger	洋	57
	Lippincott (LWW)	洋	77
	その他個別タイトル	洋	29
	メディカル・オンライン・ライブラリー	和	1,557
	その他個別タイトル	和	4
小計		1,724	
タイトル数 合計		5,271	

■データベース

■学術データベースの利用状況

データベース名称	カテゴリ	2019	2020	2021	2022	2023	備考
CINAHL	看護学英语文献	593	466	518	805	579	1-12月／検索回数
Westlaw Japan	法学文献・判例	669	1,304	1,155	757	665	4-3月／ログイン回数
MathSciNet	数学文献	38,308	22,576	-	12,160	11,898	1-12月／検索回数
Web of Science	全分野英语文献	32,786	29,274	31,413	38,877	33,810	1-12月／検索回数
InCites Journal & Highly Cited Data	学術雑誌評価ツール	2,810	1,198	4,015	3,338	3,907	1-12月／検索回数
EBSCO Discovery Service	横断検索ツール	-	8,313	8,214	7,623	6,620	1-12月／検索回数
朝日新聞クロスサーチ	新聞	2,493	3,634	2,582	3,095	2,212	4-3月／ログイン回数
医学中央雑誌Web	医学・看護学文献	75,167	82,090	84,354	60,919	53,149	4-3月／検索回数
化学書資料館	化学参考図書	3,574	3,334	2,335	1,533	2,833	4-3月／アクセス数
ジャパンナレッジ	各種参考図書等	68,817	71,647	64,578	53,561	57,093	4-3月／検索回数
日経テレコン21	新聞	8,492	9,026	14,537	5,893	7,322	4-3月／本文利用件数
ヨミダス歴史館	新聞	6,058	3,290	4,673	5,640	4,520	4-3月／検索回数
ルーラル電子図書館	農学参考図書	589	757	1,999	2,975	4,816	4-3月／記事閲覧回数
和歌・連歌ライブラリー	和歌・連歌	748	93	1,686	657	649	4-3月／ログイン回数

■電子ブック

■電子ブックの利用状況（閲覧回数）

プラットフォーム	2019	2020	2021	2022	2023
EBSCOhost eBook Collection	62	18	387	292	389
Maruzen eBook Library	344	587	1,101	737	1,049
ProQuest Ebook Central	119	59	43	57	52
Springer eBooks	3,331	3,537	4,486	2,896	1,049

※当該年の1月～12月で集計している。

※統計が入手できたプラットフォーム・期間のみ掲載。

■電子ブック契約タイトル数

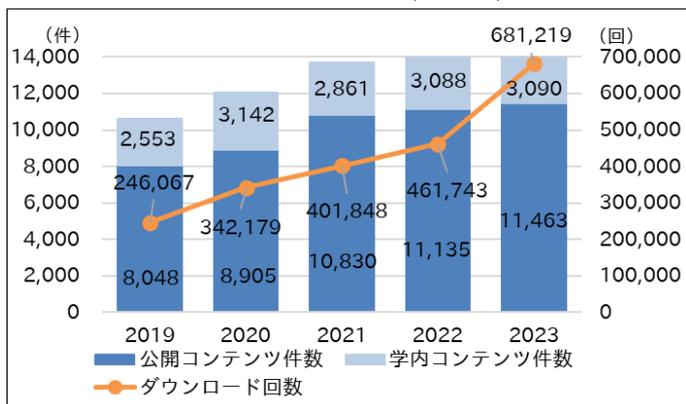
プラットフォーム	和	洋	合計
EBSCOhost eBook Collection	509	154	663
Elsevier ScienceDirect	0	1	1
KinoDen	604	0	604
Maruzen eBook Library	1,996	470	2,466
メディカルオンライン・イブックス	198	0	198
ProQuest Ebook Central	0	226	226
Springer eBooks	0	16,092	16,092
Ovid ebook	0	4	4
タイトル数合計	3,307	16,947	20,254

※2024年3月31日時点の累積。買い切り分のみ（年間購読型は含まない）

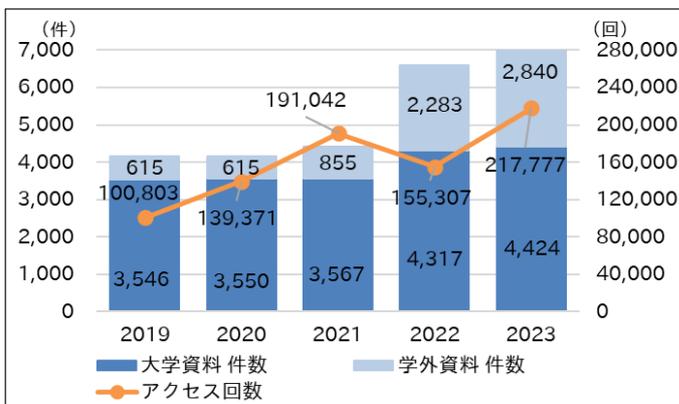
統計

Webサービス

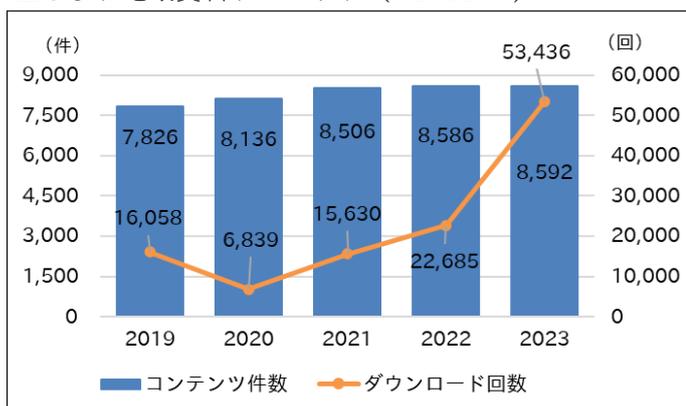
■島根大学学術情報リポジトリ (SWAN)



■デジタルアーカイブ



■しまね地域資料リポジトリ (GO-GURa)



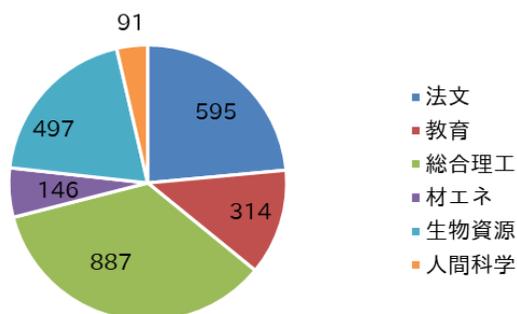
■本館の『館内施設利用予約』 (Web予約システム)

部屋名	総利用時間*1	総開室時間	稼働率[%]*2
グループ学習室1	1,118時間0分	3,095時間30分	36.12
グループ学習室2	967時間45分	3,095時間30分	31.26
研究個室1	869時間30分	3,095時間30分	28.09
研究個室2	568時間30分	3,095時間30分	18.37
研究個室3	636時間45分	3,095時間30分	20.57
研究個室4	530時間15分	3,095時間30分	17.13
研究個室5	458時間45分	3,095時間30分	14.82
オンライン会議ブース1	323時間45分	3,095時間30分	10.46
オンライン会議ブース2	46時間30分	3,095時間30分	1.50
オンライン会議ブース3	167時間30分	3,095時間30分	5.41

*1 総利用時間とは、館内施設を実際に利用した時間を蓄積したもの

*2 稼働率とは、総利用時間を総開室時間で除算したもの

グループ学習室等の利用回数



統計

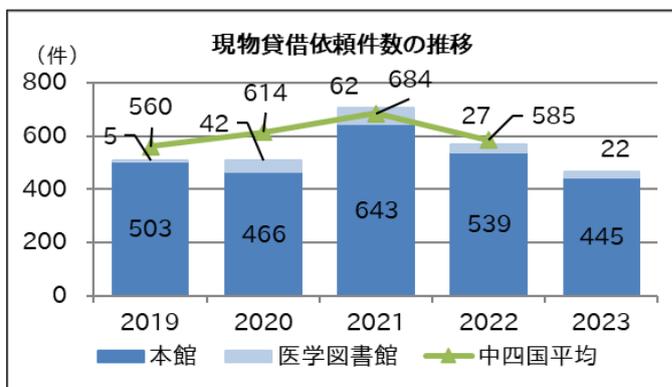
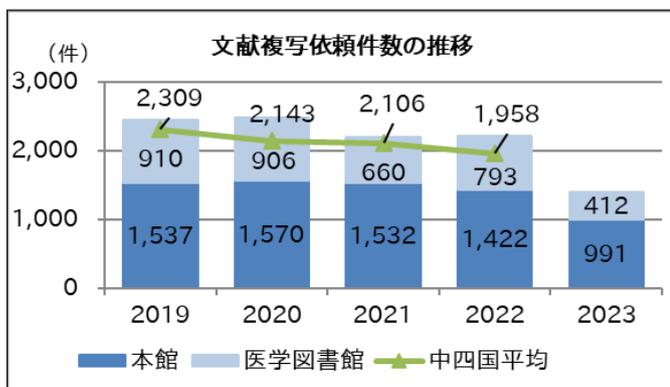
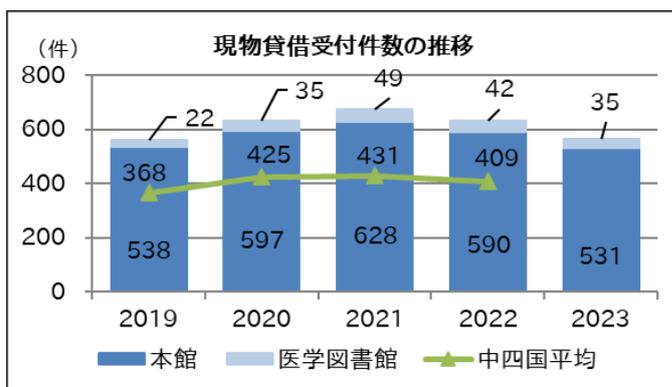
相互協力

文献複写件数

		2019	2020	2021	2022	2023
本館	受付	652	762	942	853	817
	依頼	1,537	1,570	1,532	1,422	991
医学図書館	受付	891	1,101	1,227	790	690
	依頼	910	906	660	793	412
中四国平均	受付	1,880	1,684	1,684	1,307	-
	依頼	2,309	2,143	2,106	1,958	-

現物貸借件数

		2019	2020	2021	2022	2023
本館	受付	538	597	628	590	531
	依頼	503	466	643	539	445
医学図書館	受付	22	35	49	42	35
	依頼	5	42	62	27	22
中四国平均	受付	368	425	431	409	-
	依頼	560	614	684	585	-



県内図書館間の相互貸借

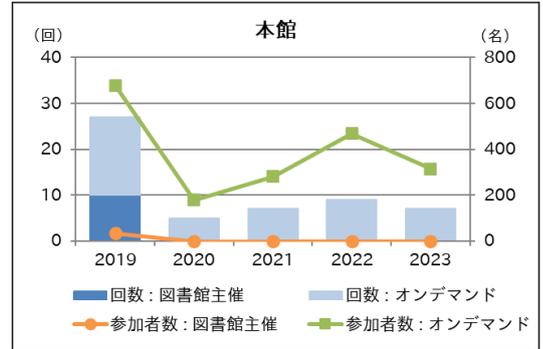
		貸出冊数					借受冊数				
		2019	2020	2021	2022	2023	2019	2020	2021	2022	2023
本館	島根県立大学（松江）	46	42	38	49	38	5	6	14	1	9
	松江高専	5	0	3	5	6	0	0	7	1	1
	島根県立図書館	46	38	49	57	38	16	25	58	47	38
	県立以外の公共図書館	227	230	250	201	193	27	27	63	65	47
医学図書館	島根県立図書館	3	4	18	7	8	0	22	15	12	2
	県立以外の公共図書館	10	27	19	19	12	0	14	38	9	14
合計		337	341	377	338	295	48	94	195	135	111

統計

■講習会

■学術情報リテラシー講習会

			2019	2020	2021	2022	2023
本館	図書館主催	回数	10	0	0	0	0
		参加者数	34	0	0	0	0
	オンデマンド*1	回数	17	5	7	9	7
		参加者数	679	180	282	468	315
医学図書館	図書館主催	回数	3	1	4	4	2
		参加者数	36	90	10	10	5
	オンデマンド*1	回数	17	3	10	8	7
		参加者数	698	208	380	424	577
参加総数			1,447	478	672	902	897



*1オンデマンドとは、教員と連携して授業内で実施したものや個々の利用者の求めに応じて開催した講習会を指す。

■その他

■いこうる（男女共同参画図書コーナー）の貸出回数（本館）

テーマ	展示期間	展示冊数	貸出回数
政治、ダイバーシティ、人間関係、病気・闘病記、移民	2023年4月～2023年6月	100	36
戦争と平和、社会活動、結婚・離婚、依存	2023年7月～2023年9月	100	13
男女共同参画、伝記・自伝、旅行、病気・闘病記	2023年10月～2023年12月	100	35
政治、性教育、貧困、病気・闘病記、ファッション	2024年1月～2024年3月	100	29
合計		400	113



※ 国立女性教育会館からの団体貸出

■松江市立図書館コーナーの貸出回数（本館）

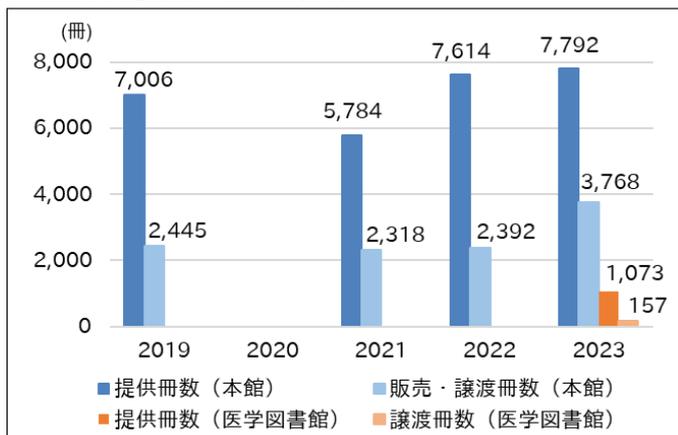
テーマ	展示期間	展示冊数	貸出回数
冬に読みたい、コンシェルジュおすすめの本	2023年12月15日～2024年1月19日	50	42
合計		50	42

※ 松江市立中央図書館からの団体貸出（図書館コンシェルジュが選書）

■松江市立図書館移動図書館の利用状況（本館）

巡回日	新規登録者数	貸出者数	貸出冊数
2023年5月29日（月）	4	13	31
10月30日（月）	11	20	59
11月30日（木）	3	13	44
合計	18	46	134

■廃棄予定図書の無償提供会



※ 2019年以前は有償販売、2021年以降は無償提供とした。

■図書館見学・ツアー

実施日	参加者	人数
2023年7月3日	島根県立大社高等学校	49
7月6日	島根県立大田高等学校	32
7月13日	広島県立西城紫水高等学校	25
7月28日	広島県立呉宮原高等学校	33
8月7日	島根県立浜田高等学校	55
8月9日	グローバルサイエンスキャンパス受講生	14
8月10日	島根県立松江東高等学校	32
8月24日	川津小学校	24
9月22日	倉吉東高等学校	5
10月11日	島根県立江津高等学校	35
10月12日	島根県立江津高等学校	35
10月13日	香川県立坂出高等学校	27
10月17日	島根県立島根中央高等学校	50
12月18日	多伎町更生保護女性会	15
2024年3月26日	頓原公民館 子供会	22

図書館日誌

年月日	カテゴリ	館区分	事項
2023年4月3日	展示	本館	新ロゴマーク記念展示『島根大学「松江キャンパス」ができるまで』を開催（～5月31日）
4月24日	イベント	本館	学生向け図書館ツアーを開催
4月25日	その他	共通	クラリベイト・アナリティクス社の「Web of Science講習会」開催
4月25日	イベント	医学図書館	廃棄予定図書の無償提供会を開催【学生・教職員対象】（～4月27日）
5月9日	その他	本館	本館、ラーニングcommons1に特設図書コーナーを設置
5月17日	展示	本館	図書展示「授業関連図書コーナーから出張展示中！アカデミック・スキル特集」を実施
5月29日	イベント	本館	松江市立図書館の移動図書館車が来学
6月1日	イベント	共通	電子ブックまつりを開催（～7月31日）
6月5日	展示	本館	企画展示「命の絆展～被害者も加害者も出さないまちづくり～」を開催（～6月16日）
6月12日	展示	本館	図書展示「本を通じて世界を知る～SDGs特集～」を実施（～7月7日）
6月20日	会議等	共通	令和5年度第1回 附属図書館運営会議
6月20日	会議等	本館	令和5年度第1回 附属図書館本館運営会議
6月26日	会議等	医学図書館	令和5年度第1回 医学図書館運営会議
7月3日	展示	本館	島根大学写真部による「水無月展」開催（～7月12日）
7月4日	イベント	本館	廃棄予定図書の無償提供会を開催（～7月7日）
7月21日	展示	本館	企画展示「戦争と平和を考える2023～ラーゲリ(収容所)にいた島根の人たち～」を開催（～8月31日）
7月25日	その他	共通	クラリベイト・アナリティクス社のウェブセミナー「知らないと損をする！ジャーナル・インパクトファクター活用術 2023」を開催
8月1日	その他	本館	デジタルアーカイブに地域資料（個人所蔵資料等）を追加
8月4日	その他	本館	フレックスターム及び夏季休業期間中の節電対策（～9月27日）
8月22日	その他	医学図書館	医学図書館蔵書点検（～8月25日）
9月4日	その他	本館	本館蔵書点検（～9月8日）

図書館日誌

年月日	カテゴリ	館区分	事項
9月14日	展示	共通	デジタル展示「桑原羊次郎の欧米美術行脚～日英博覧会を中心に～」をジャパンサーチで公開
9月19日	展示	共通	デジタル展示『桑原文庫「展覧会目録」の世界』を公開
10月1日	その他	共通	SciFinderの利用開始
10月30日	イベント	本館	松江市立図書館の移動図書館車が来学
11月8日	その他	共通	APCの免除や割引の情報を掲載
11月15日	展示	本館	企画展示「しまねで世界と繋がる！」を開催（～11月29日）
11月15日	イベント	本館	学生選書ツアーを開催
11月20日	イベント	本館	松江市立図書館の移動図書館車が来学
11月29日	展示	本館	図書展示「災害を知る・災害に備える」を実施（～12月中旬）
12月15日	会議等	共通	令和5年度第2回 附属図書館運営会議（～22日、メール審議）
12月15日	会議等	本館	令和5年度第2回 附属図書館本館運営会議（～22日、メール審議）
2024年1月10日	展示	本館	しまねまごころバンク主催「移植医療に関する資料展示～つながるいのち～」を開催（～1月31日）
1月19日	その他	共通	能登半島地震の被災地域からの避難者に対するサービスの提供（～3月31日）
1月23日	イベント	本館	廃棄予定図書の無償提供会を開催（～1月26日）
3月15日	展示	本館	企画展示「東日本大震災一須田郡司と小泉八雲」を開催（～4月30日）
3月19日	会議等	共通	令和5年度第3回 附属図書館運営会議（～22日、メール審議）

図書館日誌/その他の記録

■新型コロナウイルス対応

年月日	館区分	事項
2023年4月3日	本館	グループ学習室の提供を再開 (収容定員を半数に制限…学習室1:2~4名/学習室2:2~6名)
5月8日	本館	ラーニングコモンズでのグループ学習禁止を解除 (5月7日までは個人学習用スペースとして提供)
5月8日	医学図書館	実習生/非実習生/教職員を分けていたゾーニングを廃止 2階セミナー室の提供を再開(学内者のみ/2~8名) 3階自由閲覧室の提供を再開(学内者のみ/上限16名) 学外者の入館禁止を解除(館内滞在時間を1日1時間までに制限)
10月2日	本館	グループ学習室の人数制限を緩和(学習室1:2~6名/学習室2:2~8名)
2024年4月1日	本館	グループ学習室の人数制限を撤廃(学習室1:2~8名/学習室2:2~12名)

■展示貸出の実績

会期	展示名	資料名	資料番号
2023年7月7日 ~9月3日	企画展「しまね×交通クロニクル -北前船からフォードまで-」(鳥根県立古代出雲歴史博物館)	天保五午年分同八酉年迄波止目論見中入用勘定帳	0089731
		大浦湊澗口波止築立由来手続控	0089778
		御買上ヶ銃鉄御用留	0089847
		石州大浦湊波上之図	2229415
2023年7月29日 ~9月2日	令和5年度鳥根大学総合博物館アシカル企画展「黎明期の植物標本 鳥根大学に遺されてきた長野菊次郎コレクション」(鳥根大学総合博物館)	新撰日本植物圖説	0136213
		科属検索日本植物志	0236062
		植物學雜誌	1390010
		日本鱗翅類汎論	1390330
2023年9月30日 ~11月12日	企画展「シーボルト来日200周年記念 大シーボルト展」(長崎歴史文化博物館)	[シーボルト授与の修業証書]	1429908
		[他藩通鑑状]	1429909
		[宗門証状]	1429910
2023年10月6日 ~11月26日	令和5年度秋の特別企画展「三次鵜飼と日本の鵜飼」(広島県立歴史民俗資料館)	出雲石見魚漁圖解 1巻	2097211
		出雲石見魚漁圖解 2巻	2097212
		出雲石見魚漁圖解 3巻	2097213
		出雲石見魚漁圖解 4巻	2097214

その他の記録

■報道

事項	掲載紙・放送局等（年/月/日）
島根大学 新ロゴマーク記念展示	文教ニュース（2023/7/5）
島根大学附属図書館 日本資料専門家欧州協会年次大会参加	文教ニュース（2023/10/9）
企画展示「命の絆展－被害者も加害者も出さないまちづくり－」	日本海テレビ（2023/6/30）
企画展示「戦争と平和を考える2023～ラーゲリ（収容所）にいた島根の人たち～」	NHK（2023/7/21） 読売新聞（2023/7/22） 山陰中央新報（2023/8/12）
企画展示「しまねで世界と繋がる！－しまね国際センター&JICAパネル展－」	山陰中央新報（2023/11/16）
企画展示「東日本大震災－須田郡司と小泉八雲－」	山陰中央新報（2024/3/27）

■講師等

年月日	氏名	発表タイトル等	研修会名等（会場）
2023年9月15日	佐藤陽子 田中やよい	『欧米美術行脚』、桑原文庫、島根大学附属図書館デジタル・コレクション：インターネット時代のリソース	第33回日本資料専門家欧州協会（EAJRS）年次大会（ベルギー） ※オンライン参加
2023年10月13日	田中やよい	事例報告 「デジタル化を通じた貴重資料の利活用」	第64回中国四国地区大学図書館研究集会（主催：香川大学図書館等） ※オンライン開催
2024年1月29日	佐藤陽子 田中やよい	事例報告 島根大学附属図書館蔵「桑原文庫」に関するギャラリー作成	ジャパンサーチ連携機関向けキュレーションワークショップ2024（主催：国会図書館） ※オンライン開催

本館 Main Library in Matsue

〒690-8504 島根県松江市西川津町1060
Tel (0852)32-6083 Fax (0852)32-6089
竣工：1978(昭和53)年1月17日
増築竣工：1984(昭和59)年12月25日
耐震・機能改修：2013(平成25)年2月28日
構造：鉄筋コンクリート造3階建、書庫8層
面積：6,826㎡
席数：543席



医学図書館 Medical Library in Izumo

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町89-1
Tel (0853)20-2090 Fax (0853)20-2095
竣工：1979(昭和54)年3月19日
耐震改修：2007(平成19)年12月20日
構造：鉄筋コンクリート造3階建
面積：1,819㎡
席数：219席



